

第1部

- ♪ この道 山田 耕筰
- ♪ 赤とんぼ 山田 耕筰
- ♪ からたちの花 山田 耕筰
- ♪ 民謡紀行にしひがし 千秋 次郎
- ♪ 五木の子守唄 熊本民謡
- ♪ 木琴小協奏曲 黛 敏郎
- 1 楽章 アレグロ(お囃子風に)
2 楽章 アダジエット(追分風に)
3 楽章 プレスト(追い立てられるように)

第2部

- ♪ 道化師のギャロップ D. カバレフスキー
- ♪ ソナチネ 第1番 作品13-1 ハ長調 D. カバレフスキー
1 楽章 アレグロ・アッサイ・ルジンガンド(華やかに、時々甘美に)
2 楽章 アンダンティーノ(子守唄のように)
3 楽章 プレスト(急速に)
- ♪ 10の小品 D. カバレフスキー
ボールあそび、ちいさい歌、スケルツォ、昔の踊り、踊り
おどけ、川辺の夜、ちいさな童話、悲しいものがたり、マーチ
- ♪ やさしい変奏曲 D. カバレフスキー
- ♪ ヴォカリーズ S. ラフマニノフ
- ♪ モンタギュー家とキャピュレット家 S. プロコフィエフ
バレエ「ロメオとジュリエット」より
- ♪ 舟歌 P. チャイコフスキー
- ♪ くるみ割り人形 P. チャイコフスキー
小序曲
行進曲
こんぺい糖の踊り
葦笛の踊り
花のワルツ

演奏者プロフィール

マリimba：明瀬 由武 *AKASE Yoshitake*

東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行う。NHK FMにて新実 徳英「For Marimba I」、西村 朗「ソロマリimbaのための詩曲」他、数多くのマリimba作品の初演をする。青年海外協力隊々員として中米コスタリカに派遣され、国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者として、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行う。

現在、東京・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

CD「マリimbaの贈り物～クリスマスの日～」

CD「マリimbaの贈り物パート2～星降る夜に～」

(ピアノ：高瀬 奈美 作・編曲：織田 英子)

<http://museum.world.coccan.jp/y.akase/index.html>

ピアノ：高瀬 奈美 *TAKASE Nami*

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。クラシックの古典から近代・現代音楽までピアノ音楽の可能性を探って、多彩な演奏活動を展開。つくば市では、2002年からピアノ独奏による「叙情詩集」、様々なゲストを迎えての「夜想曲シリーズ」が11回を数え、2016年11月には全曲ファリアの作品による「ファリアのタベ」を開催、好評を博す。

「つくば朝のサロンコンサート」メンバー。

CD「ジョン・ケージ/ソナタとインターリュード」

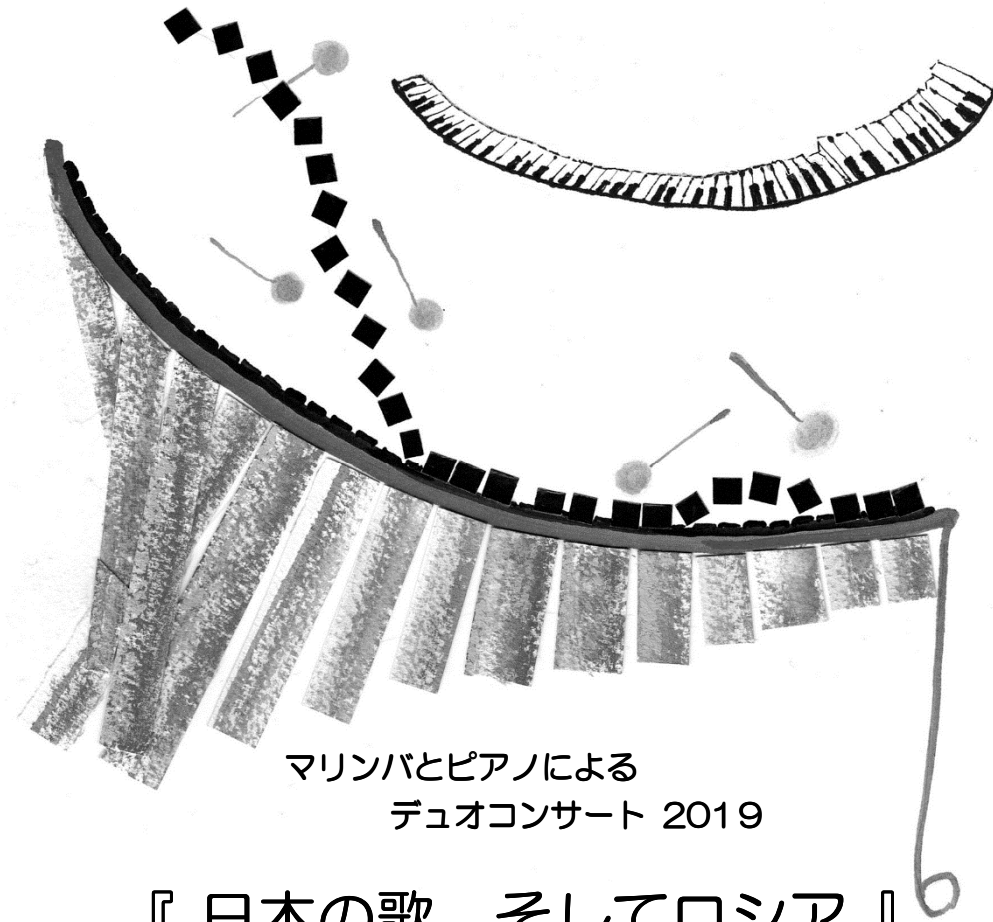
フルート：末吉 千枝子 *SUEYOSHI Chieko*

東京芸術大学音楽学部器楽科フルート専攻卒業。同大学院修士課程修了。フルートを益山 弘、吉田 雅夫の両氏に師事。また、マルセル・モイーズ、トレパー・ワイ両氏のセミナーを受講。

室内楽「ゆりね」で10年間活動。つくば市より助成金を得て、スイートコンサートシリーズを共同企画演奏。

現在、後進の指導をはじめ、室内楽を中心に活動している。

「つくば朝のサロンコンサート」メンバー。



マリimbaとピアノによる
デュオコンサート 2019

『日本の歌、そしてロシア』

マリimba 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

フルート 末吉 千枝子



アンケートにご協力ください。パソコンの方はホームページから、
携帯の方は左のQRコードからお送りください。
お待ちしております。

イラスト：しょうじ りお

つくば アルスホール

2019年6月22日(土) 1:30PM、5:30PM

第1部

♪ この道 山田 耕祐

北原 白秋の詩「この道は、いつか来た道・・・」で始まるこの曲は昭和2年（1927年）発表されました。

山田耕祐（1886～1965）は、西洋音楽の普及に努めた、日本最初の指揮者・作曲家とされています。幅広い作品分野をもち、中でも日本語の抑揚を生かしたメロディーの歌曲を数多く残しています。

私が最もあこがれているマリimba奏者 吉川 雅夫さんの編曲をお聴きいただきます。吉川さんは、コンサートでの演奏はもとより、スタジオプレーヤーとしても長年に渡り第一線で活躍なさいました。吉川さんの編曲は、楽器を熟知しているだけに、豊かな響き、躍動性に富んだリズムなど、マリimbaの魅力を存分に引き出しています。

今日は佐々 涼子さんが少し手を加えたものを演奏します。

♪ 赤とんぼ 山田 耕祐

「夕焼け小焼けの赤とんぼ、負われて見たのはいつの日か」。「赤とんぼ」は、昭和2年（1927年）三木 露風の詞に、山田が曲をつけて発表されました。

ポピュラー分野で活躍している中村 均さんの編曲をお聴きください。

♪ からたちの花 山田 耕祐

原曲の歌曲（作詞：北原 白秋）「からたちの花が咲いたよ 白い白い花が咲いたよ…」は大正14年（1925年）に発表されました。

今日は、昭和6年（1931）山田自身が編曲したものを演奏します。

山田は、発表にあたって次のようなコメントを残しています。

「私はこの曲が今日ほどの流行を見るものとは思っておりませんでした。今、私は各方面からの熱烈なる希望と懇願とに促されて、原曲をヴァイオリンの独奏曲に改編しました。」

♪ 民謡紀行にしひがし 千秋 次郎

千秋 次郎さん（1934～）は京都大学工学部卒業・大学院修了後同大で助手を勤めた後、作曲家に転向した経歴の方です。作品は400曲近くあり、洋楽器と邦楽器の共演作品も多く書いています。私の演奏会では「わらべ歌春秋」でおなじみの作曲家です。

今回次のコメントをいただきました。

「1998年に発表。会津（会津磐梯山）大阪（天満の子守唄）熊本（おてもやん）と三つの地方の民謡やわらべ歌を繋いだものです。ムソルグスキーの「展覧会の絵」のように「プロムナード主題」が最初に現れて、これが全体の引き出し役を務め、北から南へと進んでいく構想です。」

♪ 五木の子守唄 熊本民謡

11世紀後半から熊本県五木村に伝わる民謡を、古関 裕而が昭和26年（1951年）に編曲し、全国的に知られるようになったとのことです。

今日は、1987年、つくばの最初のリサイタルで演奏するために織田英子さんに編曲委嘱したものを演奏します。

♪ 木琴小協奏曲 黛 敏郎

黛（1929～1997）は、20世紀日本のクラシック音楽・現代音楽界を代表する音楽家の一人と言われ、特に日本的な素材・思想への関心から多くの作品を手がけました。また、200曲近い映画音楽も担当しました。

この曲は、1965年にマリimbaではなくザイロフォン（木琴・シロホン・xylophone）のために書かれました。もともと木琴奏者 平岡 養一の依頼により作られましたが、出来上がった作品を平岡が気に入らず、別の奏者が初演を行った、というエピソードが残っています。

ザイロフォンもマリimbaも日本語に訳すと同じ木琴ですが、ザイロフォン特有のカラカラと乾いた鋭い音は、オーケストラの中でも飛びぬけて聴こえます。そのため、「剣の舞」「動物の謝肉祭」をはじめ、多くの曲でソロ楽器として使われています。

第2部

♪ 道化師のギャロップ

D. カバレフスキー

カバレフスキー (Dmitri Kabalevsky 1904~1987) はロシアの作曲家・ピアニスト・著述家です。オペラ、交響曲、協奏曲など様々な分野に作品が多数あり、また音楽教育にも力を注ぎました。ロシアの25の学校で実験カリキュラムを設定したほか、こどものための優れた作品も残しています。

「道化師のギャロップ」はこどものために作曲したオーケストラのための組曲「発明家と道化師」の2曲目。原曲では木琴 (xylophone) がソロを受け持っています。運動会の徒競走などでよく流れる曲の一つです。編曲は平岡 養一です。

♪ ソナチネ 作品 13-1 八長調

D. カバレフスキー

カバレフスキーはピアノのためにも多くの作品を残していますが、その中に2つのソナチネがあります。作品 13-1 (第1番) は1930年に作られたもので、明るい調性で華やかな雰囲気があるために、2番 (ト短調) よりも演奏される機会が多いようです。編曲は水沼 寿和さんです。

♪ 10の小品

D. カバレフスキー

カバレフスキーは、こどものための小品 (やさしい小品、こどもの夢など) を6つ作りしました。「10の小品」は「30のこどもの小品 作品 27 (1938年)」の中から、10曲を取り出して私がアレンジしました。それぞれにタイトルが付けられています。

♪ やさしい変奏曲

D. カバレフスキー

カバレフスキーはピアノのために変奏曲を3つ残しています。「やさしい変奏曲 (作品 40)」は1944年に作られました。

水沼 寿和さんの編曲による、マリンバとフルートという異色の組み合わせでお聴きください。

♪ ヴォカリーズ

S. ラフマニノフ

ラフマニノフ (Sergei Rachmaninov 1873~1943) はロシアのピアニスト、作曲家、指揮者です。後期ロマン派を継承し、哀愁や情熱に富んだ美しい旋律が特徴で、特にピアノ協奏曲第2番は有名です。ヴォカリーズとは、歌詞の無い、母音だけで歌う歌唱法のことですが、それがそのまま曲名になっています。1915年前後にピアノ伴奏付き歌曲として発表され、その後、自身で管弦楽用に編曲しました。現在では、ピアノソロ、バイオリン、フルートなど様々な楽器で編曲演奏されています。

♪ モンタギュー家とキャピュレット家

S. プロコフィエフ

ロシアの作曲家プロコフィエフ (Sergei Prokofiev 1891~1953) は膨大な作品を残していますが、その中には「ピーターと狼」のようなポピュラーなものもあります。「モンタギュー家とキャピュレット家」は彼のバレエ音楽・管弦楽組曲「ロメオとジュリエット」の中の1曲です。また、本人の手によるピアノ独奏用があります。テレビドラマ「のだめカンタービレ」の挿入曲やテレビCMのBGMとしても使われました。

♪ 舟歌

P. チャイコフスキー

チャイコフスキー (Pyotr Tchaikovsky 1840~1893) はロシアの作曲家で、特に悲愴交響曲や3大バレエ「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」などで知られています。

「舟歌」は、1月から12月までロシアの風物詩を曲の題材として作曲したピアノ曲集『四季』の第6曲 (6月) です。

♪ くるみ割り人形

P. チャイコフスキー

「くるみ割り人形」は全曲 (15曲) 演奏すると約1時間25分にもなりますが、チャイコフスキーがそのうちの8曲を抜き出してオーケストラやピアノのための組曲としたものです。特にクリスマスシーズンになるとよく演奏されます。また、ほかの作曲家の手によっても、連弾、2台ピアノ、ブラスアンサンブル等にも編曲されています。今日のマリンバ、ピアノ版は織田 英子さんの編曲で、5つの部分からなっています。